

令和2年6月23日

環境測定分析実施機関各位

川崎市川崎区四谷上町10-6
一般財団法人日本環境衛生センター
理事長 南川 秀樹

令和2年度環境測定分析統一精度管理調査（環境省主催）に係る参加申し込みについて

時下益々ご清栄のこととお慶び申し上げます。

当所の業務につきましては、平素より格別の御高配を賜り、深謝いたしております。

さて、当所では、これまで環境省からの請負による環境測定分析統一精度管理調査を実施しており、本年度においても引き続き同調査を実施しております。

本年度の調査に関しては、基本精度管理調査として、模擬排水試料中の一般項目等（COD、BOD、全窒素、亜硝酸性窒素、硝酸性窒素およびアンモニア性窒素の6項目）を対象とします。高等精度管理調査（1）として、模擬水質試料中の農薬（詳細項目としてシマジン、イソプロチオラン、フェノブカルブおよびフィプロニルの4項目、参照項目としてアセタミプリド、クロチアニジンおよびジノテフランの3項目）を対象とします。また、高等精度管理調査（2）として、模擬大気試料（PM2.5の模擬分解液）中の無機元素（詳細項目としてニッケル（Ni）、亜鉛（Zn）、鉄（Fe）、鉛（Pb）およびアルミニウム（Al）の5項目、参照項目としてマンガン（Mn）、銅（Cu）、カルシウム（Ca）、ナトリウム（Na）、カリウム（K）の5項目）を対象とします。本調査に関する詳細は、本調査のウェブサイト(<https://www.env.go.jp/air/tech/seidokanri/index.html>)をご覧ください。

今年度調査に基づく参加申込要領を御案内いたしますので、従来と変わらぬ本調査へのご協力を賜りたくお願い申し上げます。

本件担当

環境事業第二部 佐々木、梶
電話 044-287-0766

令和2年度環境測定分析統一精度管理調査の参加申込要領
(民間、大学、独立行政法人等)

1. 調査試料

区分	名称	容器 (内容量)	個数	備考
共通試料 1	模擬排水試料 (一般項目等分析用)	ガラス瓶 (1 L)	1	液体
共通試料 2	模擬水質試料 (農薬分析用)	アンプル (約5 mL)	2	液体
共通試料 3	模擬大気試料 (PM2.5の模擬分解液) (無機元素分析用)	ポリエチレン製瓶 (約50 mL)	1	液体

2. 分析項目

(1) 基本精度管理調査

a. 模擬排水試料(一般項目等分析用)

試料中の一般項目等6項目(COD、BOD、全窒素、亜硝酸性窒素、硝酸性窒素及びアンモニア性窒素)を測定対象とする。

参加機関は最低1項目以上を選択し、分析を行う。

(2) 高等精度管理調査

a. 模擬水質試料(農薬分析用)

試料中のシマジン、イソプロチオラン、フェノブカルブ及びフィプロニルの4項目を測定対象(詳細項目)とする。

また、アセタミプリド、クロチアニジン及びジノテフランの3項目を参照項目として測定対象とする(参照項目の分析条件等については、詳細な調査は実施せず、分析結果の報告のみとする)。

参加機関は上記計7項目の中から最低1項目以上を選択し、分析を行う。

b. 模擬大気試料(PM2.5の模擬分解液)(無機元素分析用)

試料中のニッケル(Ni)、亜鉛(Zn)、鉄(Fe)、鉛(Pb)及びアルミニウム(Al)を測定対象(詳細項目)とする。

また、マンガン(Mn)、銅(Cu)、カルシウム(Ca)、ナトリウム(Na)及びカリウム(K)の5項目を参照項目として測定対象とする(参照項目の分析条件等については、詳細な調査は実施せず、分析結果の報告のみとする)。

参加機関は上記計10項目の中から最低1項目以上を選択し、分析を行う。

3. 分析方法

(1) 模擬排水試料(一般項目等分析用)

「排水基準を定める省令の規定に基づく環境大臣が定める排水基準に係る検定方法」(昭和49年環境庁告示第64号)に規定されている方法により分析する。

(2) 模擬水質試料(農薬分析用)

「水質汚濁に係る人の健康の保護に関する環境基準の測定方法及び要監視項目の測定方法について」、「ゴルフ場で使用される農薬による水質汚濁の防止及び水産動植物被害の防止に係る指導指針」、「要調査項目等調査マニュアル」あるいは上記に加えて同等以上の方法を用いてもよい。

(3) 模擬大気試料(PM2.5の模擬分解液)(無機元素分析用)

ICP質量分析法(ICP-MS法)により分析する。

4. 試料の配布時期及び分析結果の報告期限

(1) 配布時期（予定）

7月下旬を予定（詳細は後日、ウェブサイト上に掲載）

配布日の詳細が固まり次第、ウェブサイトでお知らせ致します。

(2) 報告期限（予定）

9月4日（金）

ただし、分析結果報告の方法（ウェブサイト又は用紙による報告）により報告期限が異なります。用紙による報告の場合、8月28日（金）となります。

(3) 調査結果の報告（公開等）

全体の間接報告は12月下旬頃を予定しています。

分析結果を報告いただいた機関には、翌年度（時期未定）「調査結果報告書」（環境省 編）を送付予定としています。

5. 申込方法

申し込み方法には「郵送による方法」、「ウェブサイトによる方法」があります。

「郵送による方法」は、別紙参加申込書に記入の上、期限までに下記(2)申込先へ送付ください。

「ウェブサイトによる方法」は、平成26年度から令和元年度に本調査へ参加頂いた機関におきましては、ウェブサイト「<https://www.env.go.jp/air/tech/seidokanri/index.html>」にアクセスし、トップページ中の「調査参加機関ログイン」を選択するとログイン画面が表示されます。「機関コード」、「パスワード」を入力し、「ログイン」をクリックすると参加申込の画面が表示されますので、期限までに入力してください。平成26年度から令和元年度の期間に本調査へ参加しなかった機関及び参加したが「機関コード」、「パスワード」をお忘れになった機関におかれましては、ウェブサイトによる申し込みはできませんので「郵送による方法」でお申し込みください（注）。

なお、電話、ファックスによる申し込みはご容赦ください。また、調製する共通試料には数に限りがありますので、お早めにお申し込みください。

（注）今年度の参加申し込み機関の「機関コード」、「パスワード」は、試料の送付（配布）時にお知らせしますので、「郵送による方法」でお申し込み頂いた機関におかれましても、分析結果報告等はウェブサイトからの報告が可能となります。

(1) 申込期限 令和2年7月17日（金）（必着）

(2) 申込先 〒210-0828 川崎市川崎区四谷上町10-6
一般財団法人日本環境衛生センター
環境事業第二部 佐々木、梶
TEL 044-287-0766

(3) 参加の区分及び費用（税込み）

区分		費用	
共通試料 1		25,000円	共通試料 1～3 合わせて 74,000円
共通試料 2		27,000円	
共通試料 3		25,000円	
分析結果の 報告の方法	ウェブサイト にて報告	増額なし	
	用紙にて 報告	共通試料毎に 各3,000円増額	

6. その他

(1) 参加機関の要件

本調査に参加できる機関は、実際に分析等を実施している機関であり、国内の他機関へ委託して実施している機関は参加できませんので、ご了承ください。

(2) 分析結果の公表

各種の統計量の算出根拠に該当する報告値、分析条件別の回答数、あるいは各種の文章表現等につきましては、機関名は伏せた上で公表します。参加申込をいただいた機関については、その旨をご了承いただいたものとして、処理させていただきます。

又、希望する機関につきましては、機関名を伏せた上でZスコアを結果報告書（資料編）に併記します。希望される場合は測定結果の入力時にご記入をお願いいたします。

(3) 極端な分析結果

極端な分析結果（外れ値等）を報告された場合には、その原因究明のためのアンケート調査を実施しますので、ご了承ください。

(4) ウェブサイトによる分析結果報告の作成

環境測定分析統一精度管理調査ウェブサイトで本調査に関する情報等を閲覧することができます（<https://www.env.go.jp/air/tech/seidokanri/index.html>）。

参加機関は、当ウェブサイトから分析結果報告を行ってください。用紙による報告は必要ありません。ウェブサイトによる報告が難しい機関のみ用紙による報告とします。なお、用紙による報告の場合、ウェブサイトによる報告期限に比べて一週間程度早くなります。

(5) 試料の追加請求

原則として、1分析機関につき事前にお申込みいただいた1セットの試料を送付しています。ただし、募集締め切り後に残余の試料がある場合には、実費相当（+送料）で送付いたします。追加試料をご希望の場合は締め切りまでにその旨ご連絡ください。

令和2年度環境測定分析統一精度管理調査に係る参加申込書

(民間、大学、独立行政法人等)

機関名		
機関コード	(お分かりでしたらご記入ください)	
所在地	〒	
試料の送付先	〒 (上記所在地と試料の送付先が異なる場合)	
担当者	所属	TEL: () -
	氏名	FAX: () - E-mail:
希望する試料、結果の報告方法について (数字、あるいは分析結果報告の方法を○で囲んでください)	1. 共通試料 1 (ウェブサイト、用紙) (注) (模擬排水試料：一般項目等分析用) 2. 共通試料 2 (ウェブサイト、用紙) (注) (模擬水質試料：農薬分析用) 3. 共通試料 3 (ウェブサイト、用紙) (注) (模擬大気試料 (PM2.5の模擬分解液)：無機元素分析用)	

(注) 分析結果報告の方法 (ウェブサイト、用紙) を○で囲んでいない場合は、ウェブサイトによる報告となりますので、ご了承ください。

一般財団法人日本環境衛生センター 殿

令和2年度環境測定分析統一精度管理調査への参加を申し込みます。

令和2年 月 日

機関名

印